

固体地球科学における大型研究計画 Big Science Projects in Solid Earth Science

大谷 栄治^{1*}
Eiji Ohtani^{1*}

¹ 東北大学大学院理学研究科

¹ Graduate School of Science, Tohoku University

固体地球科学は、地球惑星科学においては、地球惑星科学において、もっとも多くの研究者を擁している。この分野においては、これまで数多くの国策としての研究が推進されている。地震予測・火山噴火予測などが推進されてきた。25年度の文科省の予算においても、海底資源調査、深海地球ドリリング計画、地震防災研究戦略プロジェクト、地震調査研究（活断層と海底断層のデータベースづくり）、海底地震・津波観測網の整備、地震・火山・風水害などの基盤的防災科学技術の研究開発などが予算化されている。

学術会議の大型研究計画のアンケートによると25件の提案が考えられている。このうち、固体地球に関連しているのは、5件程度である。このうち、2件は上記のように予算化されているものである。今後、これらの大型研究計画が提案され、学術会議地球惑星科学委員会企画分科会において、審査され25件から数件が選考されることになっている。

本講演では、これらの固体地球科学分野における大型研究計画の申請内容への評価および4月に行われる学術会議地球惑星科学委員会企画分科会における申請課題への評価結果について、JPGUの固体地球セクションボードとしての総括および見解の表明を行いたい。

キーワード: 固体地球科学, 大型研究計画, 学術会議

Keywords: Solid Earth Science, Big Science Project, Science Council of Japan